

2017 全国母と女性教職員の会

子どもたちに平和な未来を
～護ろう 憲法 守ろう 心の自由～



8月1日(火)～2日(水)、かつしかシンフォニーヒルズモーツアルトホール、日本教育会館・連合会館で「全国母と女性教職員の会」が行われました。

今年のテーマは「子どもたちに平和な未来を ～護ろう 憲法 守ろう 心の自由～」で、福井県からは女性教職員3名、県教組本部2名の計5名が参加しました。近年は女性だけでなく男性の参加者も求めていることもあり、男性の姿もあり幅広い世代の方々が見られました。

1日目 全体会 かつしかシンフォニーヒルズ

モーツアルトホール

講演「今の家庭ではだめ？」

～憲法24条「改正」と家庭旧育支援法をめぐる～

モンタナ州立大学の 山口 智美 さん

歌とトーク 歌手の 李 雅美 (イ・ジョンミ) さん

「家族」のあり方や個人のプライバシーに国が介入しようとする現状や憲法24条の大切さが山口さんの話から強烈に伝わってきました。また、李さんの透き通る歌声を通して、差別のない世の中を求める凜とした姿勢が私たちの心に染み入り、人権の大切さを再確認することができました。

母と女性教職員の会 全国集会

子どもたちに平和な未来を～護ろう 憲法 守ろう 心の自由～

わが子・教え子を再び戦場に送るな



2日目 分科会 日本教育会館・連合会館

15の分科会が日本教育会館と連合会館で行われました。

第10分科会では小浜支部の山根 亮子さんが発表されました。遠敷の宝である「はたけじ」という学校近くの小山の広場の活用を目標に保護者、地域住民と共に取り組み、地域コーディネーターも活用しながら再生を図りました。そこから生まれる子どもたちの総合学習を発表しました。第2の教室である「はたけじ」について、参加者も興味深い様子で活発な意見交換や質問がなされました。



【参加者の感想】

・私は、日教組女性部常任委員という立場で、会の運営に携わりました。分科会では、第5分科会「性と生」の運営を担当しました。性同一性障害であるお子さんを持つお父さんのお話と、学校保健委員会でLGBTを取り上げた若い養護教員のお話は、参加者の心を引きつけ、会場では熱心に話し合いが行われました。「全国集会」というと、敷居が高いと思っていましたが、身近にある問題をさまざまな方と語り合える、とても気楽な会でした。まだ、「母女の会」に一度も参加したことのないみなさん、全国集会・北陸ブロック集会・福井県集会のどこかに、ぜひ参加してみてください。

(女性部長 高間 恵美)

全国母と女性教職員の会に参加していただいた各支部代表の保護者の皆さんの旅費は、女性部のカンパ金でまかなわれています。